環境経営レポート

対象期間　2025年４月１日～2026年３月31日

東海理化 Smart Craft 株式会社

発行日　2026年 7月31日

目次

１．はじめに　…　３

２．事業概要　…　４

３．環境負荷データ　…　５

４．取り組み　…　７

５．法令順守　…１２

６．活動の振り返り　…１３

７．マネジメントレビューと次年度目標　…１４

１．はじめに

（１）経営者メッセージ

当社は1991年に「理化精機」として設立し、2022年7月に株式会社東海理化の金型工機部との発展的統合を経て、社名を「東海理化Smart Craft」と改め、今年で４年目を迎えます。
金型及び生産設備の分野で培った技術と機動力を活かし、ものづくり現場のさらなる競争力強化に向け、日々改善と挑戦を重ねています。

また、アップサイクル・リサイクルなど環境を意識した発想を取り入れ、新たな価値を生み出す商品開発にも取り組んでいます地域や社会とのつながりを大切にし、豊かで持続可能な社会の実現に向け、社員一丸となって歩みを進めてまいります。

当社は2016年以来、一貫して環境経営を推進し、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得しています気候変動や資源枯渇といった地球環境課題に対し、環境への取り組みを企業の責任と捉え、事業活動やものづくりを通じて環境負荷低減を図り、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

引き続き、皆さまのご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
㊐環境省
エコアクション21
認証番号0012019

（２）環境経営方針

１．経営理念、社員行動指針に基づき環境への取り組みを推進

■主な取組項目

カーボンニュートラル実現に向けての活動

・地球温暖化防止	・・・CO_2削減（再生可能エネルギーの活用含む）
・仕事と資材の効率化	・・・省エネ化、省資源化
・リサイクル	・・・資源の循環
・廃棄物削減	・・・省資源化
・グリーン調達	・・・自然環境保護
・省エネ設備導入	・・・消費電力の低減

生物多様性　　自然環境保護、地域社会貢献

２．法・地域や顧客との約束を守り、さらに目標を定め、地球温暖化・環境汚染の未然防止を推進

・・・法令順守

３．環境委員会を設置し、継続的な環境改善活動を展開

・・・環境マネジメントシステム構築

●経営理念より
社会の一員として、法と倫理を遵守し、自然・地域と共生する企業をめざす。

●社員行動指針より
自然環境の保護として、エネルギー・資源の有効利用および環境負荷の低減につとめます。

代表取締役社長　直井滋樹

2．事業概要

（1）組織の概要

会社名	東海理化Smart Craft株式会社 （旧　理化精機株式会社）
代表取締役社長	直井　滋樹
環境管理責任者	都築　慎也
資本金	3,000万円
従業員数	162名　（2026年3月）
事業活動	自動車部品、金型及び金型部品 設備、治工具及び それらの部品の製造、販売、測定 新規事業開拓

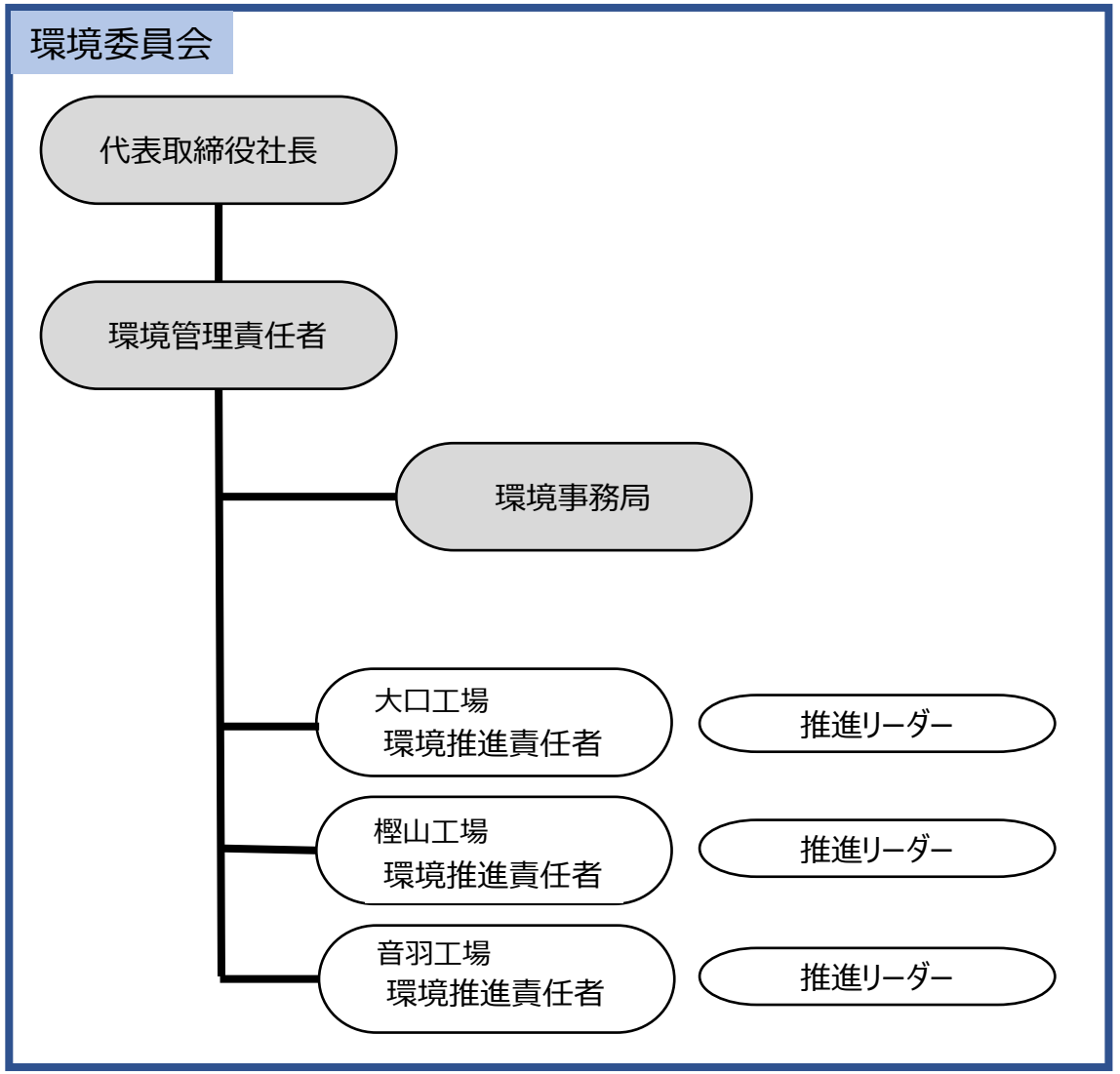
（2）対象範囲　…　全組織

本社・大口工場
愛知県丹羽郡大口町豊田3丁目260番地
(㈱東海理化大口工場内)

樫山工場
愛知県岡崎市樫山町字新居野53番地6

音羽工場
愛知県豊川市赤坂町平山１番地
(㈱東海理化音羽工場内)

（3）環境経営組織



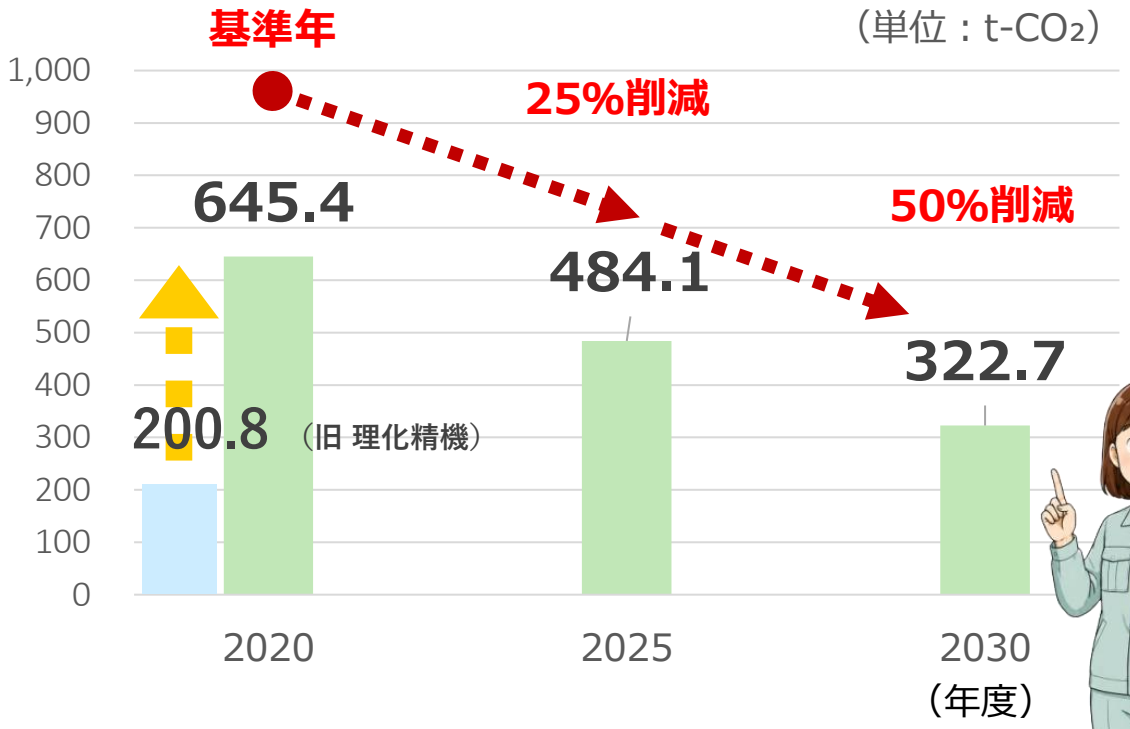
3．環境負荷データ

（1）中長期目標の設定　☆

項目		単位	対象	中長期目標
二酸化炭素排出量（t-CO_2）	電力消費量	kWh	全社	**2020年度基準に対し 2025年度25%低減 2030年度50%低減**
	化石燃料消費量（ガソリン･軽油）	ℓ	全社	**2022年度基準に対し 毎年度１%低減**
	LPG	㎥	樫山	
	産業廃棄物排出量（焼却）	kg	全社	
水使用量	-	㎥	樫山	**2022年度基準に対し 毎年度１%低減**
化学物質使用量	-	kg	全社	**都度適正管理**

当社は2022年７月に会社統合により新会社としてスタート
従来目標設定をしていた大口工場及び樫山工場に加え音羽工場が追加されたため、CO_2排出量削減目標を再設定

（2）中長期目標（電力消費量のみ）



CO2排出量を10年で50%削減を目指します。

3．環境負荷データ

環境経営目標	単位	2020年度 基準	2024年度 実績	2025年度 目標	2025年度 実績	2025年度 評価
CO2排出量（電気）	t-CO_2	645.4	**474.0**	484.1	491.0	×
	kwh	1,506,416	1,213,138	1,129,812	1,236,500	×

2025年度 CO_2排出係数
電気(t- CO_2 /kwh)
0.000421･･･大口･音羽
0.000299･･･樫山

環境経営目標	単位	202２年度 基準	2024年度 実績	2025年度 目標	2025年度 実績	2025年度 評価
CO2排出量（電気以外）	t-CO_2	88.1	**67.1**	85.5	**54.6**	○
【内訳】 ガソリン	t-CO_2	56.7	**49.0**	55.0	**54.6**	○
	ℓ	24,447	21,134	23,714	23,533	○
LPG	t-CO_2	0.11	**0.03**	0.11	**0.04**	○
	㎥	16.7	5.1	16.2	6.9	○
産業廃棄物 (焼却)	t-CO_2	31.3	**18.1**	30.4	**0**	○
	kg	10,826	6,024	10,501	0	○

電気以外のCO_2 排出係数
ガソリン (t- CO_2 / ℓ)
0.002322
LPG (t- CO_2 /㎥)
0.0066
産業廃棄物 (t- CO_2 /kg)
0.003(焼却)

※次年度管理
目標値から除外

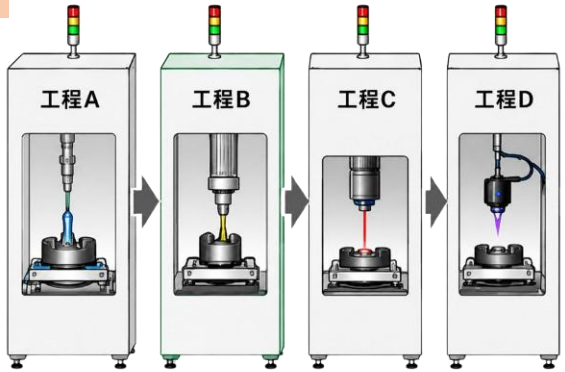
環境経営目標	単位	202２年度 基準	2024年度 実績	2025年度 目標	2025年度 実績	2025年度 評価
水 使用量	㎥	322	**187**	312	**203**	○

４．取り組み

● 主な取組事例１

【動力源を削減した省エネ設計】

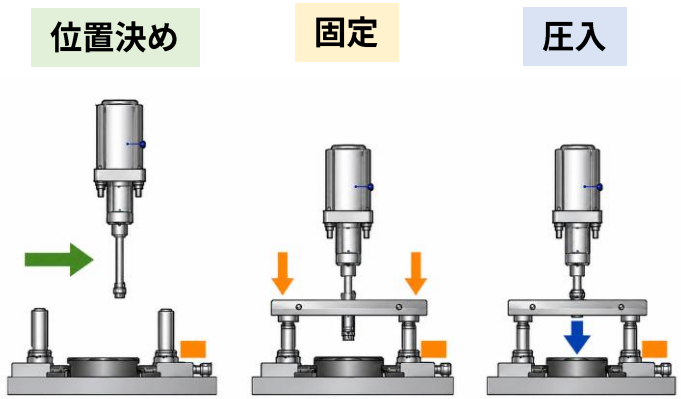
組立ライン



組立ラインでは、４つの工程を経て１つの部品が完成します。
今回は、「工程B」の改善を説明します。
「工程B」では、3つの動力で、3つの動作を行ってましたが、設計改善をして、１つの動力だけで、3つの動作が実現できました。
これにより、電力消費量の削減を図ることができました。

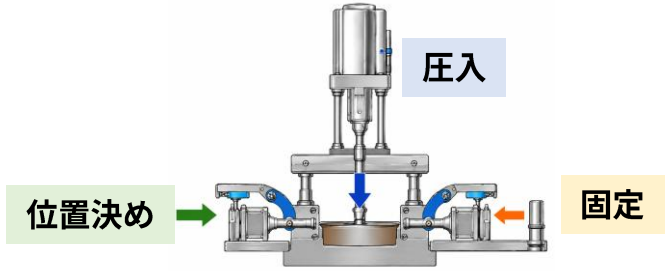
従来

動力（アクチュエーター）を３個使用、３動作



改善後

動力（アクチュエーター）を１個のみ使用、３動作を実現



電力消費量 66%減

環境性能向上の効果

- **アクチュエーター数削減**
  駆動源を集約し、台数を削減
- **消費エネルギー低減**
  無駄な動力・エネルギーロスを低減
- **装置の小型化**
  構成をシンプルにし、省スペース化を実現
- **部品点数削減**
  機構の一体化により、部品点数を削減

４．取り組み

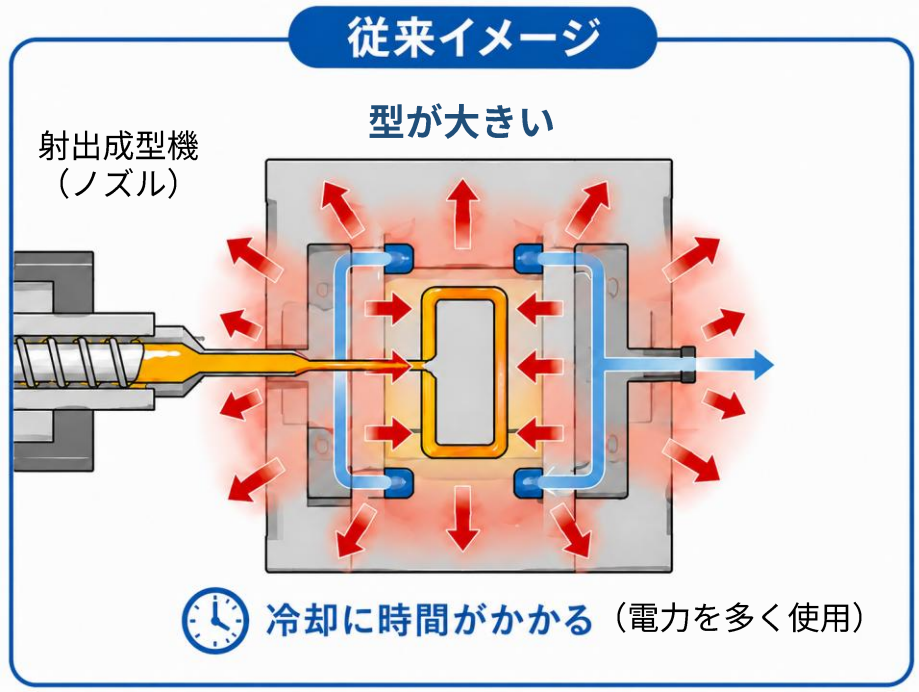
● 主な取組事例２

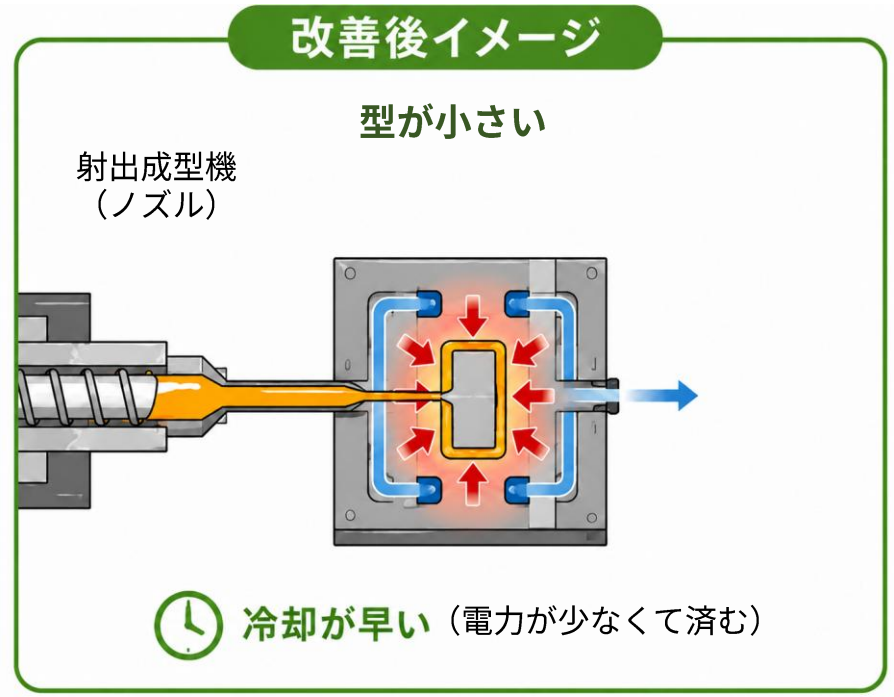
【金型小型化】

プラスチック部品を作る射出成形は、加熱して溶かした樹脂を金型内に射出し、冷却・固化させて製品を成形します。

従来よりも金型を小型・軽量化し、冷却水路を成形部の近くに配置することで、金型内の熱移動を効率化しました。

これにより、金型の温度調整や冷却に必要な時間とエネルギーの低減を図っています。





改善

①金型の小型・軽量化

②冷却回路の最適化

加熱・冷却に必要なエネルギーを低減

電気使用量削減

効果

- 温める金属量が減る
- 冷却時間が短くなる
- 成形サイクルが短くなる
- 使用エネルギーを削減できる

４．取り組み

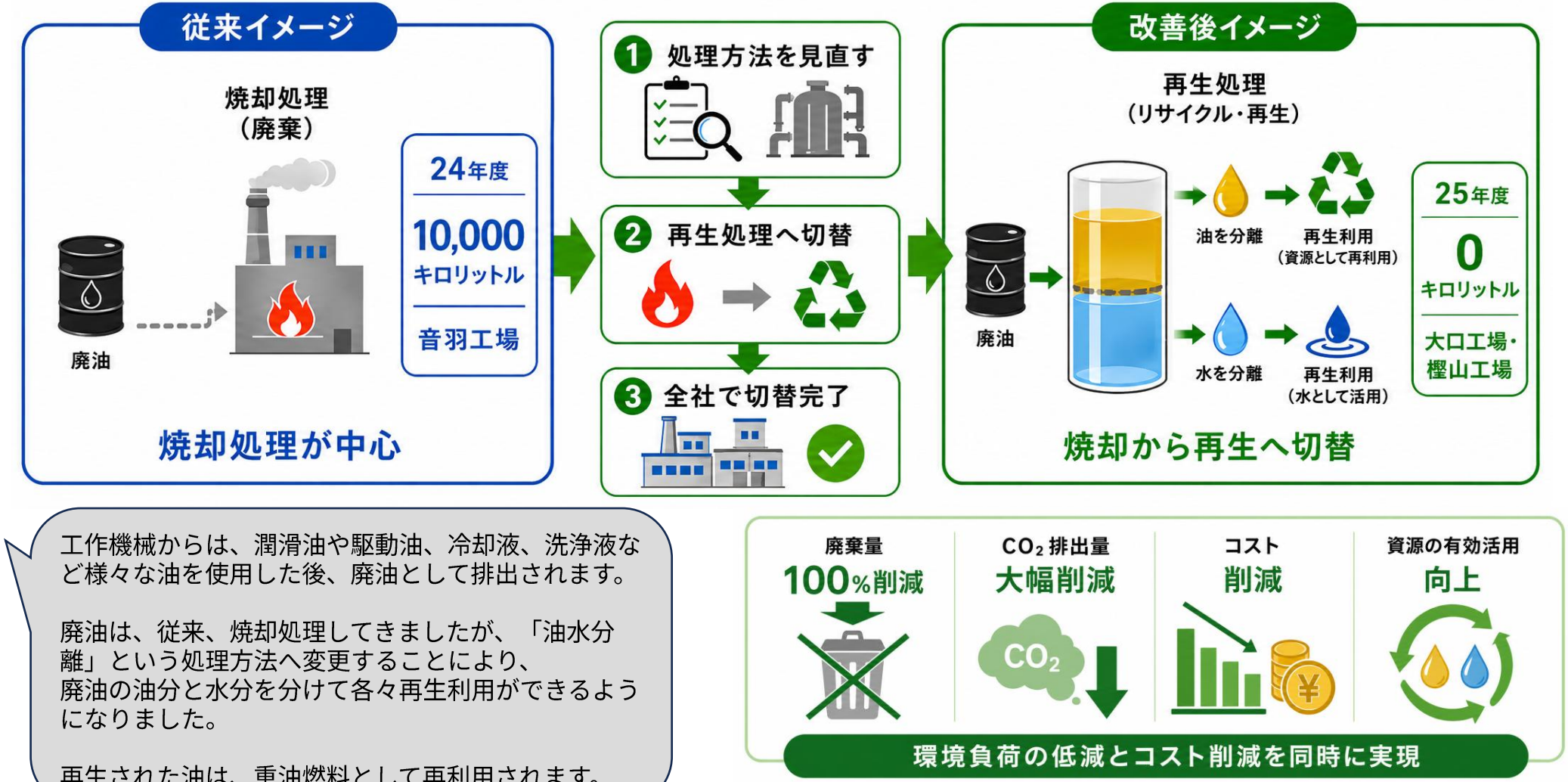
●主な取組事例3

【廃油の再生「油水分離」】

工作機械からは、潤滑油や駆動油、冷却液、洗浄液など様々な油を使用した後、廃油として排出されます。

廃油は、従来、焼却処理してきましたが、「油水分離」という処理方法へ変更することにより、
廃油の油分と水分を分けて各々再生利用ができるようになりました。

再生された油は、重油燃料として再利用されます。

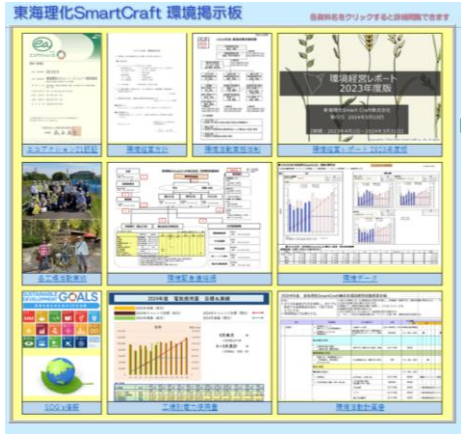


４．取り組み

●主な取組事例4

【社内外コミュニケーション（環境掲示板）】

環境掲示板をつくり社員とのコミュニケーションを大事する一方、
社外では地域の方々と協力して生物多様性保護にも力を入れています。



電子化

社内ポータルサイト

【生物多様性保護（特定外来種防除）】

オオキンケイギク（愛知県大口町）

場所：木津用水の川べり　＊大口町及び近隣企業と共同で実施

アルゼンチンアリ（愛知県豊橋市明海町）

場所：明海地区　　＊豊橋市および他企業様と共同で実施

４．取り組み

● 主な取組事例5

【使用済み材料を活用した製品開発】

使用済み廃棄物

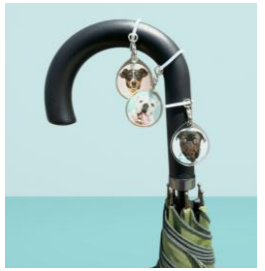
アクリルシールド
（コロナ時の飛沫防止板）

廃パレット

地元の間伐材

①アクReル

https://nbmarket2024.base.shop/



Re-castyle

④チェアRe

⑤トンボ（球場整備用）

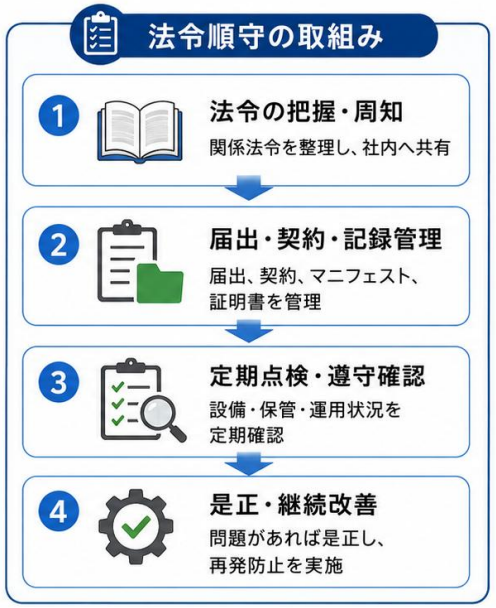
NEW!

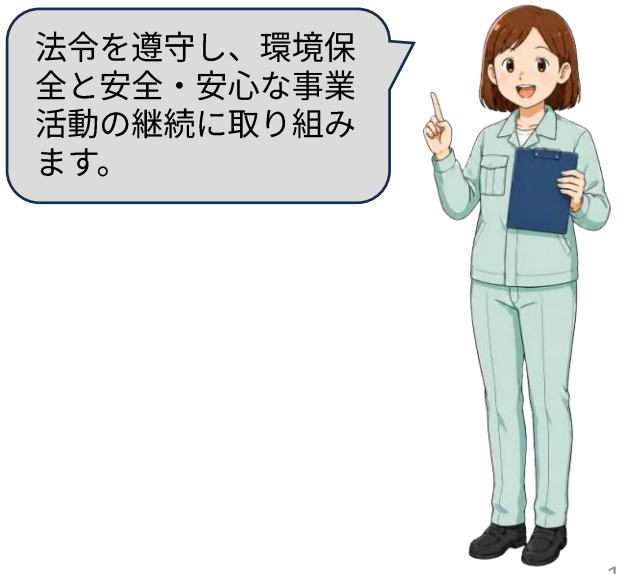
使用済みのアクリルシールドや廃パレット、地元の間伐材を、捨てずに新しい価値ある製品へ生まれ変わらせるアップサイクルに取り組んでいます。
アクリルスタンド、キーホルダー、野球場整備用トンボとして新たな価値のある製品として生まれ替わらせます。
また、アクリル製品販売サイトを立ち上げて個人や企業の皆さまから引き合いをいただいています。

5．法令順守

法令の名称	要求事項	評価
環境基本法	事業活動に伴う環境への負荷低減、その他の環境の保全に自ら努めるとともに、 国または地方が実施する環境保全に関する施策への協力	○
廃棄物処理法	産業廃棄物及び一般廃棄物の適正処理 収集・運搬・処理委託業者との契約締結 マニフェスト交付状況の報告	○
水質汚濁防止法	有害物質、油等の流出事故時の届出と必要な処置 （公共用水域・下水道流出・地下浸透時）	○
騒音規制法 振動規制法	規制基準の遵守（施設境界線：測定管理） 騒音・振動、特定施設導入前の届出	○
消防法	指定可燃物及び、危険物の指定数量管理と届出 （樫山工場：油類、少量危険物取扱所届出・認可）	○
電気事業法	法対象設備の管理及び規定に基づく届出 （樫山工場：受変電設備対象）	○
電波法	その機器が電波法の規制対象かを周波数・出力・用途等で確認 （樫山・音羽）焼き嵌め装置	○
フロン排出抑制法	修理・廃棄時の登録業者委託、引き取り証明書の保管と記録 対象機器の点検	○

＊遵守状況について
・現在、自社の遵守状況評価で問題が無いことを確認
・違反、訴訟も無し





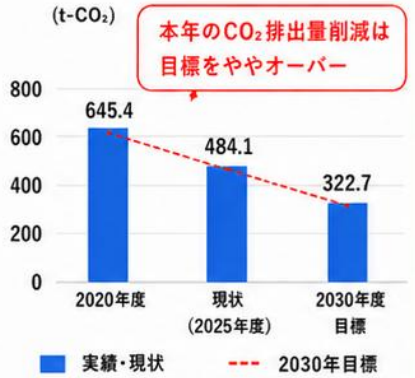
6．活動の振り返り

1 2025年度の環境目標の振り返り

- 法令違反ゼロ継続、廃棄物管理、地域活動も実施
- 2030年CO_2目標は、現行対策では不足見込み

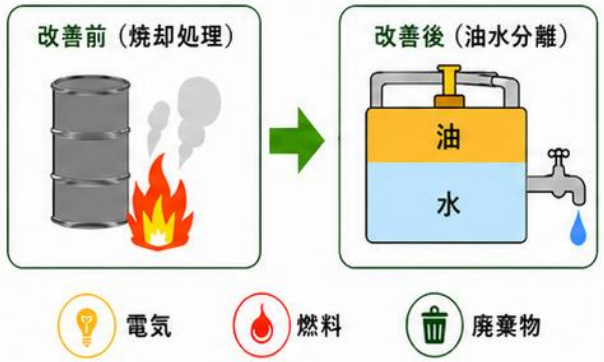
法令違反ゼロ継続　廃棄物管理　地域活動も実施

CO_2排出量の推移と目標



2 CO_2 排出量（電気・燃料・廃棄物）の状況

- 産業廃棄物の焼却（焼却処理）→（油水分離）へ移行済



3 法令違反・苦情・事故の有無

- 法令違反なし

4 環境教育

- 環境月間で動画視聴・KYT実施

環境動画視聴

KYT実施

5 自然保護・資源の再利用

- 生物多様性保護の外来種駆除（オオキンケイギク、アルゼンチンアリ）参加
- アクリル材のアップサイクル商品販売

オオキンケイギク

アルゼンチンアリ

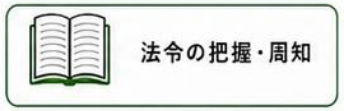
アクリル材のアップサイクル商品

6 内部監査・改善提案

- 内部監査は実施済
- 改善提案は実施されたが成果に乏しい
  → 社員からの掘り起こし不足

7 法令順守の取組み

- 環境関連法令の遵守徹底
- 法令順守の教育・点検を継続実施



課題を見つめ直し、次年度の目標達成に向けて取り組みを強化していきます！

7. マネジメントレビュー と次年度目標

【マネジメントレビュー】代表者による全体の評価と見直し・指示

2025年度の環境経営活動を振り返ると、CO_2排出量削減を主眼とした活動については十分な成果を上げることができず、引き続き課題が残る結果となりました。
一方で、昨年度より取り組んできた廃油処理方法の見直しについては、焼却処理から油水分離処理への切替を全社展開できたことは、環境負荷低減に向けた大きな成果であったと評価しています。
エネルギー使用量について、電気消費量は目標未達となりましたが、ガスおよび水道使用量は目標を達成することができました。2026年度の電気消費量については、工場毎の目標値割り付けの見直しと、設備更新による省エネ効果の余地は限られるが、運用改善を含め目標達成に向けた取組を継続してまいります。

環境関連法規の遵守状況については、適切な管理が維持できていると判断しています。また、生物多様性保全活動についても継続して取り組んでおり、地域環境保全に貢献できていると評価。
さらに、本業を通じた環境貢献として、からくり技術の活用や熱交換効率向上などの技術の盛り込んだ提案を推進しており、今後もお客様の省エネルギー化に寄与する製品・サービスの提案を強化していきます。
2026年度はこれらの活動に加え、化学物質管理を重点テーマとして位置付け、潜在的なリスクの見える化と適切な対策の推進により、安全かつ環境に配慮した職場づくりを進めていきます。

2026年7月31日

代表取締役社長　直井滋樹

【2026年度目標】

環境経営目標	単位	2025年度目標	2026年度目標
CO_2排出量（電気）	t-CO_2	484.1	**451.8**
	kwh	1,129,812	**1,008,921**

環境経営目標	単位	2025年度目標	2026年度目標
CO_2排出量（電気以外）	t-CO_2	85.5	**84.7**
【内訳】ガソリン	t-CO_2	55.0	**54.4**
	ℓ	23,714	**23,469**
LPG	t-CO_2	0.11	**0.10**
	㎥	16.2	**16.0**

環境経営目標	単位	2025年度目標	2026年度目標
水 使用量	㎥	312	**309**